



魚の住みやすい川を守ろうね

◀ 鮎に声を掛けながら放流しました。

稚鮎放流事業 (5月25日)



阿保の木津川河川敷で、さくら保育園の年長児が参加して、鮎の稚魚を放流する事業が行われました。

子どもたちは、鮎の稚魚が入られたバケツを1つずつ受け取って川まで運び、「大きく育てね」と声を掛けたりしながら放流しました。



▲この日は500匹以上の鮎を放流しました。

初夏の高原を駆け抜けて

第31回青山高原つつじQuarterマラソン大会
(5月27日)

▼爽やかな晴天の中、高原を走り抜けました。



青山高原で、第31回青山高原つつじQuarterマラソン大会が開かれました。この大会では、3kmの部、5kmの部、10.55kmを走るQuarterの部の3部門に分かれて走ります。

ランナーは、スタートの合図で一斉に起伏の激しいコースに飛び出し、新緑の青山高原を爽やかな汗を流しながら駆け抜け、982人が見事完走を果たしました。



▲給水所で水分補給するランナーたち

日頃の成果を発表

第47回島ヶ原文化サークルまつり
(6月3日)



▲美しい歌声が会場に響き渡りました。



▶ふれあいバンドが会場を盛り上げました。

島ヶ原会館で島ヶ原文化サークルまつりが行われました。

島ヶ原地域の文化サークルが日頃の活動の成果を披露する場として毎年開催されているものです。今年はふれあいバンドによる演奏やカントリーダンスなど6グループが発表し、観客を楽しませました。

この日はおよそ130人が参加し、異なるサークル同士の交流の場となりました。



忍者になりきって思い切り遊んだよ

にんじゃの国のミニ運動会 (6月3日)



▲スタッフの指導のもと紙で手裏剣を作る参加者

伊賀市が忍者市宣言をしたことにちなんで、いがまち公民館でミニ運動会が行われました。参加者はダンボールやペットボトルなどの廃材を利用して手づくりされた「手裏剣投げの術」や「床すり抜けの術」「壁つたいの術」など忍者の動きを取り入れた9つの種目に挑戦し、一つ一つの種目を成功させると歓声をあげていました。

▼うまくバランスをとりながらペットボトルの橋を渡りました。



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など

本紙 14 ページの「クールシェア」についてわかりやすく解説します。



こども広場

「夏を涼しく過ごすために」

節電に取り組むことができます。

職場や家庭での冷房時に室温 28℃でも快適に過ごすことができる工夫をクールビズと言いますが、個人のエアコンの使い方を見直し、涼しさを分け合うことをクールシェアと言います。家族や地域で楽しみながら

☆室温 28℃ (目安) で快適に過ごすために
次に紹介することの中から、自分でできることを探して取り組んでみましょう。

【ひとりごき(1人1人)】

- 冷房使用時は冷やした空気を逃がさないようにドアや窓をしっかりと閉め、また、冷房に加えて扇風機を活用し、室内の冷たい空気を循環させる。
- うちわや扇子を利用して体感温度を下げる。
- 夏野菜をおいしく食べて身体の中からクールダウン。
- 室温に合わせた涼しい服装にする。

【友達や家族みんなでできる(1人1人)】

「自宅・ご近所で」 エアコンを複数の家や部屋で使うことをやめ、1カ所に集まり、家族やご近所同士で集まって絆を深めよう。
「自然で」 木陰などの自然が多く涼しい場所に行き、ゆったりとした時間を過ごす。
「まちで」 図書館などの公共施設や、商業施設などの身近で涼しい場所に集まって、楽しい時間を過ごす。

- こまめなフィルター清掃でエアコンの効き目アップ。
- 風鈴や金魚を飼ったり、涼しげなアイテムを生活に取り入れる。
- 打ち水をする。
- すだれなどを活用する。

この他にも、友達やお家の人と話し合ったりして、何ができるのか、考えてみましょう。

【問い合わせ】 環境政策課

☎ 20・9105 FAX 20・9107

小・中学生のための「ヒント」

